

特集 コエンザイムQ10

企業動向

「還元型CoQ10」の世界トップメーカー「オールケア」で機能性表示対応へ

カネカ

㈱カネカ(東京都港区)は、世界唯一の「還元型CoQ10」メーカー。「還元型CoQ10」の工業的生産技術を確立、『カネカQH™』を世界市場に供給する。日本・米国・欧州・豪州を中心に、500製品以上のサプリメントへの採用実績を持つ。米国ではFDAのNDI(新規サプリメント素材)申請受理に加え、Self-Affirmed GRAS認証を取得済み。

同社では、原料・カプセルパルク・OEM供給からグループ会社商品(カネカユアヘルスケア)の販売まで、全方位的に「還元型CoQ10」事業を展開する。普及活動にも注力しており、知花くららをイメージキャラクターにしたTVCMの放映や、マラソン・トライアスロンなどのスポーツイベントに出展するなど、PR活動を積極化。さらに、匠コラボシリーズとして、世界的なシヨクラティエ・三枝俊介氏がオーナーシェフを務める「シヨクラティエ パレドール」や「芝神明榮太郎」などのコラボ商品を開発、「還元型CoQ10」の素材認知向上に繋げている。

原料・OEM供給では、抗疲労・抗酸化に関する独自のエビデンスがアドバンテージとなり、サプリメントから一般食品・菓子類からペットフードに至るまで、国内での採用商品数は約60品に迫る。「還元型CoQ10」と相乗効果を有する素材との組み合わせによるOEM提案も進めており、「クリルオイルと融合させたサプリメントが有名美容室で採用されている」という。

機能性表示食品の受理数は20品超。表示内容は「細胞のエネルギー産生を助け、酸化ストレスを軽減する働きがある」1日

常的な生活での一過性の身体的・精神的疲労感を軽減する」など。1日目摂取量は100mg。

新たな機能性表示への挑戦も。「オールケア(唾液分泌改善)」「意欲(やる気)の向上」に関してSRを整備中という。

「オールケア」では、100mgの摂取で「口の渇きが気になる成人健常者の唾液分泌速度(量)が増加することを確認。口腔機能の衰えは、唾液分泌、咀嚼力低下のみならず、さまざまな疾病リスクが高まることに着目、研究に着手した経緯がある。来月18日から開催される「日本疲労学会」では、「疲労だけではない還元型CoQ10の機能～オールフレイル対策」をテーマに、セミナーを開催する。

「還元型CoQ10」の原料アイテムは、「原料」「30%安定化粉末」の2種。前者をソフトカプセル用途、後者を食品、顆粒、ドリンク用途を中心に提案している。メインの訴求ポイントは、ミトコンドリアのエネルギー産生(抗疲労中心)と抗酸化作用。エネルギー産生に関しては、「(体内での変換の必要がなく)細胞に直接働く還元型CoQ10」であることが最大の特長だ。

無関係資料の部分を削除し [31]項と統合しました。

水溶性還元型CoQ10、倍増で推移 ニーズ別に6種のCoQ10原料を供給 ペトロユーロアジア

ペトロユーロアジア(株)(静岡県駿東郡)は、『還元型コエンザイムQ10 水分散型粉末(ShiroQ)』を供給する。

『還元型コエンザイムQ10 水分散型粉末(ShiroQ)』は、ICHガイドラインに準拠した国産(カネカ製)の還元型CoQ10原料を使用。独自のナノ化技術を駆使し、還元型CoQ10を水中に安定な形で高分散化した粉末品で、ユビキノール含有量40.0%以上で規格している。溶解性と保存安定性に優れ、水分散時の粒子が細かく、長時間安定した分散性を有する。還元型における水分散時の平均粒径は約80~100nm。40℃・無酸素保存の状態では36ヵ月後に変化を調べたところ、品質上の変化は見られず、ノンシュガー糖衣錠やドリンクを用いた保存安定性試験でも同様の結果を得ている。

水分散型粉末の吸収性を明らかにするため、単回経口投与後の血中濃度変化について検証したところ、空腹時に摂取した場合でも優れた吸収性を示すことを確認した。20代の健常者10人を対象に、水分散型粉末と、対照群として油に溶かされた還元型CoQ10を摂取させた。その結果、空腹時単回経口投与後の血漿中ユビキノール濃度は水分散型粉末のほうが有意に高かった。またAUC値も水分散型粉末のほうが良好な吸収性を示した。

同社では新たに、無味無臭、低吸湿性で飲料以外の製品に適した『還元型コエンザイムQ10(ShiroQE)』も拡充した。還元型CoQ10原料は、抗疲労(機能性表示対応)、スポーツニュートリション、妊活サポート向けのほか、ペットフード向けにも利用されている。また、欧州、東南アジアなど海外輸出が好調で、前年比倍増で推移しているという。

同社では「還元型CoQ10は、臨床・研究資料が豊富かつ、安心安全な日本製なので、海外からも高い評価を得ている」と話す。

このほか、同社では『コエンザイムQ10 水分散型粉末(40SP)』や、無味無臭、低吸湿性で飲料以外の製品に適した『コエンザイムQ10 水分散型粉末(40SPE)』、また還元型CoQ10を10%含有する『ShiroQ乳剤』、CoQ10を10%含有する乳剤原料も取り扱う。

無関係資料の部分を削除し [31]項と統合しました。

水溶性還元型CoQ10(ShiroQ®)

粉剤、散剤、錠剤、ハードカプセル、飲料と幅広く使用でき、いつ飲んでも高い吸収性が得られるShiroQ®、本物の水溶性と高吸収をご確認いただけます。還元型コエンザイムQ10はカネカ社製の安心、安全な製品です。

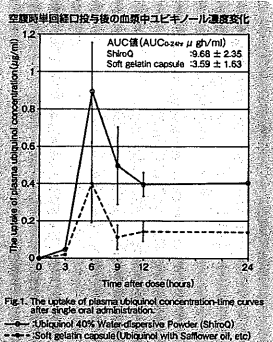


Fig. 1. The uptake of plasma Ubiquinol concentration-time curves after single oral administration. — ShiroQ 40% Water-dispersive Powder (ShiroQ) - - - Soft gelatin capsule (Biovital with Softener oil, etc)

いつ飲んでも吸収されるPEAの水溶性還元型CoQ10(ShiroQ®)を機能性表示食品に対応した素材としてご提案いたします。

PetroEuroAsia ペトロユーロアジア株式会社 〒411-0907 静岡県駿東郡清水町伏見507-7 URL:http://www.petroeuroasia.com TEL 055-943-5583 FAX055-971-2188

認知機能、妊活サポート 神経変性疾患の予防にも期待

日本コエンザイムQ協会 山本順寛理事長

日本コエンザイムQ協会(東京都港区)は、2002年に設立。今年1月に16回目となる研究会を開催するなど、CoQ10に関する正しい知識の普及と科学的研究を奨励するための活動を行っている。同協会理事長の山本順寛氏にCoQ10の魅力や機能性研究などについて話を聞いた。

CoQ10の魅力は

CoQ10は、エネルギー産生に必要な機能性成分で、生きていくうえでなくてはならないもの。CoQ10量は加齢とともに減少するので、補うことで、老化で出現するさまざまな症状に対処できる可能性がある。抗酸化力に優れ、副作用もない。健康と美を守るうえでCoQ10は切り札的な存在になる。健康寿命の延伸を達成するうえで不可欠なものと考えます。

CoQ10の機能性研究について

今年も1月に「第16回日本コエンザイムQ協会研究会」が都内で開催された。CoQ10の生合成、同結合タンパク質、脳、

受精、線内障、加齢関係など、さまざまな研究成果が発表された。活発な議論がなされた。

個人的にはCoQ10と認知機能の関係性に関心を寄せている。

認知症と診断された人は、CoQ10が少ないということがわかっている。また、CoQ10は、根本的な治療法が確立されていない多系統萎縮症など、神経変性疾患の予防にも期待できる。

このほか、加齢による卵子の質の低下はミトコンドリアエネルギー産生効率の低下と関係しており、女性の高齢出産が増すなか、妊活サポート素材としても注目したい。

CoQ10の健康機能が解明される一方、CoQ10の吸収率に最大6倍もの個人差があることなどの報告もある。こうした部分解明されていけば、CoQ10の利用はさらに広がると考える。

